

水性代替仕様について

はじめに

環境意識の高まりなどから、木部塗装においても水性化が進んでいます。

弊社の水性の塗装仕様では、どのような塗料が用いられるのか紹介します。

Q 1 : 公共建築工事標準仕様書内 木部塗装仕様とは？

仕様名	概要と弊社塗料例
ステイン塗り	ピグメントステイン等の着色塗料 VATON ^{FX} 等
木材保護塗料塗り (WP)	屋外用の着色保護塗料 VATON プラス、水性バトンプラス等
ウレタン樹脂ワニス塗り(1液) (UC)	1液形油変性ポリウレタンワニス VATON ^{FX} トップクリヤー等
ウレタン樹脂ワニス塗り(2液) (UC)	2液形ポリウレタンワニス SW ネオデラック 2020FF-2C (床向け) 等
クリヤラッカー塗り (CL)	ラッカーダー下塗り、中塗り、上塗り SW ウッドシーラー金剛、SW ラッカー型サンディング金剛、 SW ラッカー型クリヤー金剛

★詳しい塗料選定につきましては弊社 HP の『塗料選定』ページをご参照願います。

公共建築工事標準仕様書内の木部塗装仕様では、水性クリヤラッカー塗り(CL) や水性ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 等の塗装仕様、塗料は存在しません。=弊社では後述の塗装仕様をご提案し、水性塗料に代替するか判断を頂いております。

Q 2 : 油性～溶剤系塗料と水性塗料の違いは？

(水性塗料のメリット)

- ・臭気、VOC放散量が少ない。
- ・消防法上の非危険物である。
- ・油性～溶剤系の塗装と同等程度の耐久性があり、CLと比べると耐久性は向上する。
(UC(2液)と比較すると、製品によっては耐久性が劣ります)

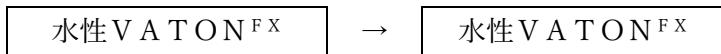
(水性塗料のデメリット)

- ・高温～低温下では著しく乾燥が遅くなる。(水分が揮発しにくくなるため)
- ・水気により木のケバが立ちやすい。(手触りのざらつき感や導管部の色むらが発生しやすい)
- ・着色塗料は白ボケしやすい

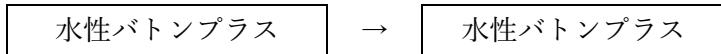
※弊社製品・標準塗装仕様に基づいた比較となります。

Q3: 大谷塗料が提案する塗装工程・製品は?

【水性ステイン塗り (ST)】



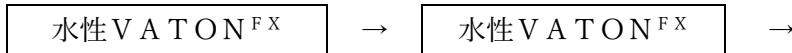
【水性木材保護塗料塗り (WP)】 B種



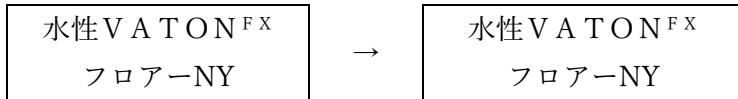
【水性クリヤラッカー塗り (CL)】 B種



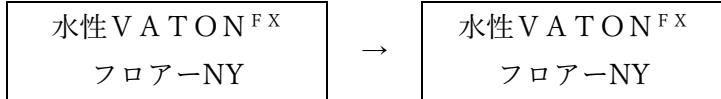
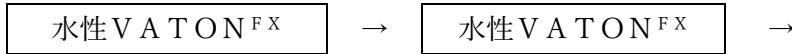
【水性オイルステイン塗り + クリヤラッカー塗り (OSCL)】 B種



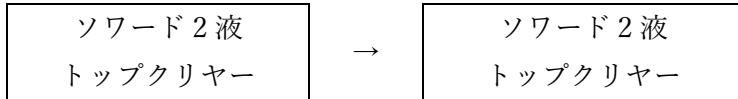
【水性ウレタン樹脂ワニス塗り(1液) (UC)】 B種



【水性オイルステイン塗り + ウレタン樹脂ワニス塗り(1液) (UC)】 B種



【水性ウレタン樹脂ワニス塗り(2液) (UC)】 B種



※詳しい塗装仕様につきましては各製品カタログ及び、最寄りの営業所へお問合せご確認願います。

まとめ

- ・公共建築工事標準仕様書内 木部塗装仕様に水性の塗装仕様、塗料は存在しない。
- ・メーカー標準塗装仕様にて、水性化の判断を頂いている。
- ・弊社では各種塗料を取り揃えておりますので、優先される要望に沿ったご提案をさせて頂きます。

※本資料の情報は 2022 年 5 月現在のものです。なお、掲載内容は予告なく変更する場合があります。